

九州国立博物館 「3階特別展示室」
令和3年(2021年)
4月20日(火)～6月13日(日)
太宰府天満宮横



Special Exhibition
Celebrating the Enthronement Ceremonies of
His Majesty the Emperor

The Reproduction of Shosoin Treasures

Encountering Tenpyo Craftsmanship
through the Recreation of
8th Century Works

出品作品はすべて再現された模造です。

〔休館日〕月曜日(ただし、5月3日は開館)
〔時間〕午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
夜間開館の実施状況については当館ホームページ等でご確認ください。
※状況により会期等を変更する場合があります。

(中央)模造 螺鈿紫檀五絃琵琶(裏) (左上)模造 螺鈿紫檀五絃琵琶の貝に線彫りを施している様子
(右下)貝を切り出している様子 作品・画像ともすべて正倉院事務所蔵

御大典記念 特別展

よみがえる 正倉院宝物 再現模造にみる天平の技

受け継がれる、技のバトン。

〔関連イベント〕

【リレー講座】 ※聴講無料、要事前申込

①2021年5月1日(土) 午後1時～1時40分

近代の正倉院と宝物の模造 講師：九州国立博物館 樋笠 逸人

②2021年5月15日(土) 午後1時～1時40分

2つの「模造 螺鈿紫檀五絃琵琶」 講師：九州国立博物館 川畑 憲子

会場：九州国立博物館 1階研修室 定員：各回30人

〔申込み方法〕※申込締切：①②とも2021年4月16日(金)必着

往復はがき、またはメールで受付。ご希望の講演会番号(①もしくは②)、郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、電話番号を明記のうえ、下記宛にお申込みください。1通につき1名の申込となります。

〒810-0001 福岡市中央区天神1-4-1 西日本新聞イベントサービス内「よみがえる正倉院宝物展」係
E-mail:yomigaerushosoin@nishinippon-event.co.jp 電話:092-711-5491(平日午前9時30分～午後5時30分)

※往信用裏面／上記必要事項をご記入ください。返信用表面／郵便番号、住所、氏名をご記入ください。※応募多数の場合は抽選とさせていただきます。※当選者の発表は聴講券の発送をもってかえさせていただきます。※ご応募の際にいただいた個人情報は、本イベントの連絡にのみ使用させていただきます。※①②どちらも聴講希望の方は、それぞれ1通ずつお申込みください。

〔物販情報〕

本展特設ショップでは、「再現性」にこだわった逸品から、会場でしか手に入らないオリジナルグッズまで多数ご用意しています。また、日本工芸会西部支部正会員の作品を会場にてご購入いただけます。この機会をお見逃しなく！

※すべての正会員作品が販売されるわけではありません。



(左)螺鈿箱レプリカ缶(990円(税込)) (右)フェリシモミュージアム部 模造 螺鈿紫檀五絃琵琶エコバッグ&ポーチ(2,970円(税込)) ※欠品となる場合があります。ご了承ください。

●入場料金：一般1,600円、高大1,000円、小中600円

※大学生以下の方は展示室入り口にて学生証や生徒手帳をご提示ください。※上記料金で九州国立博物館4階「文化交流展(平常展)」もご覧いただけます。※前売り料金での販売はありません。

●主催：宮内庁正倉院事務所、九州国立博物館・福岡県、朝日新聞社、西日本新聞社、NHK福岡放送局

●共催：(公財)九州国立博物館振興財団 ●学術協力：奈良国立博物館

●協賛：ライブアートブックス、竹中工務店、高砂熱学工業、ゼンリン ●特別協力：太宰府天満宮

●後援：日本工芸会、日本工芸会西部支部、日本工芸会山口支部、福岡市、太宰府市、太宰府市商工会、太宰府観光協会

お問い合わせ | よみがえる正倉院宝物展事務局(西日本新聞イベントサービス内)
TEL:092-711-5491(平日午前9時30分～午後5時30分)

展覧会公式HP | <https://shosoin.exhibit.jp/>

チケットはARTNEチケットオンライン(<https://artne.jp/pages/ticket>)、
ローソンチケット(Lコード:82198)にて2021年3月1日から発売。

会期中は九州国立博物館
1階券売所でも購入できます。
※払い戻し・販売不可。



チケットの
予約・購入は
こちらから

・障がい者等とその介護者1名は無料です。展示室入り口にて障害者手帳等をご提示ください。
・本展では券売所での混雑を避けるため、キャンパスメンバーズ券以外の各種会員制度やクーポン等による各種割引のお取り扱いはありません。
・ローソンチケットでは、購入の際に各種手数料がかかる場合があります。ご了承ください。

| 平日ご来館のお客様 | ・日時指定は不要です。

土日祝日に
ご来館のお客様

・新型コロナウイルス感染症予防のため、ARTNEチケットオンライン、ローソンチケットによる日時指定チケット(事前予約)を推奨します。
招待券や障がい者手帳などをお持ちの方も対象です。
・会場が混雑している場合は事前予約のお客様を優先します。当日、九州国立博物館でご購入いただくお客様はご入場をお待ちいただく場合がございます。
・ローソンチケットで販売する日時指定チケットは、枚数に限りがあります。

チケットに関するお問い合わせ：西日本新聞イベントサービス TEL:092(711)5491(平日午前9時30分～午後5時30分)

●必ずマスク着用のうえご入館ください。●37.5度以上の発熱、また風邪などの症状がある場合はご入館いただけません。

九州・山口のアート情報サイト「アルトネ」
ARTNE artne.jp

駐車場(有料)には限りがございますので、予めご了承ください。



〔公共交通機関〕

●西鉄電車＝西鉄福岡(天神)駅から西鉄天神大牟田線(特急約16分/急行約18分)で西鉄二日市駅乗り換え、西鉄太宰府線(約5分)で西鉄太宰府駅下車、徒歩約10分※特急/急行料金不要

●JR＝JR博多駅からJR鹿児島本線(快速約15分)でJR二日市駅下車、JR二日市駅から西鉄二日市駅(徒歩約12分、バス約6分)、西鉄二日市駅から西鉄太宰府線利用

●西鉄バス＝博多バスターミナル(1階11番のりば太宰府行き)から西鉄太宰府駅下車(所要時間約40分)、徒歩約10分

〔車〕

●九州自動車道＝太宰府ICまたは筑紫野ICから高雄交差点経由で約20分

●福岡都市高速＝水城出口から高雄交差点経由で約20分

●タクシー利用＝JR二日市駅から約15分・福岡空港から約30分



九州国立博物館 太宰府天満宮横

〒818-0118 福岡県太宰府市石坂4-7-2 www.kyuhaku.jp NTTハローダイヤル 050-5542-8600(午前8時～午後10時/年中無休)

天平の美と技に魅せられた、名工たちの情熱の結晶。

鏡・調度・装身具

宝物中唯一の七宝製品

模造 黄金瑠璃鈿背十二稜鏡(部分)
正倉院事務所蔵

七宝で飾った
鏡背をもつ鏡の模造。
七宝は細かく砕いた色ガラスの
粉末を焼きつけたもので、
華やかな宝相華文様を表わしています。

漆地に映える螺鈿や水晶

模造 螺鈿箱
正倉院事務所蔵

原宝物は「紺玉帯」を収める箱で、
希少な漆地螺鈿のひとつです。
箱の内側の色鮮やかな錦も
原宝物と同じ織りかたで再現されています。



刀・武具

聖武天皇が用いた華麗な大刀

模造 金銀鈿荘唐大刀(部分)
正倉院事務所蔵

要所に配した透彫の金具には、
水晶や色ガラス玉を用いた華麗な装飾がほどこされています。
原宝物は聖武天皇の礼装用の
大刀と考えられています。



染織

美しい色合いを 絶妙に再現

模造 七条織成樹皮色袈裟
正倉院事務所蔵

「樹皮色」とは多色が入り交じる
色合いのことで、
2〜3色の糸を撚り合わせた
全糸で表現されています。
模造では原宝物の欠失部分も
復元されました。

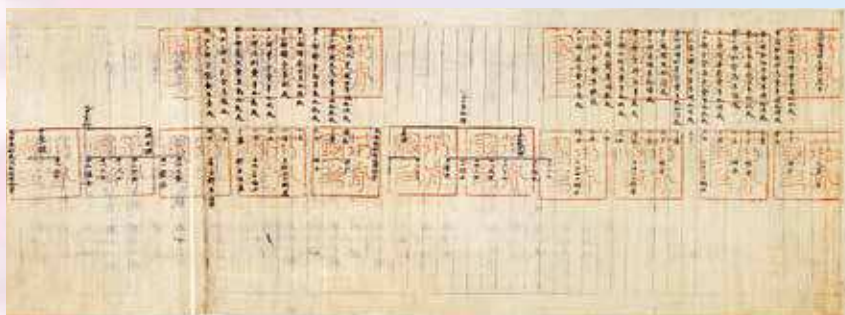
模造 紅牙撥鏤基子
奈良国立博物館蔵



デジタルでは伝えきれない本当の古文書の姿

模造 正倉院古文書正集 第38巻
〔筑前国嶋郡川辺里戸籍〕(部分)
国立歴史民俗博物館製作

古代の膨大な情報が
込められた正倉院古文書。
文書の裏面や紙の継ぎかた、
墨の微妙な濃淡までも、
忠実に伝えるコロタイプ複製です。



素材の違いを生かした繊細な木画

模造 紫檀木画箱 正倉院事務所蔵

仏への供物を
収めるための箱の模造。
異なる素材を組み合わせて
象嵌する木画技法で
文様を表わしています。
模造製作のための調査によって、
錫の使用が明らかとなりました。



8年がかりで完成した 五絃琵琶

模造 螺鈿紫檀五絃琵琶
正倉院事務所蔵

原宝物は正倉院宝物を
代表する「螺鈿紫檀五絃琵琶」。
華麗な装飾はもちろんのこと、
実際に演奏が可能な楽器を
目指して再現されました。

正倉院宝物とは、奈良・東大寺の
正倉に伝えられた約九千件におよぶ品々です。
聖武天皇ゆかりの品をはじめ、その多くが奈良時代の作で、
西域や唐代の中国からもたらされた国際色豊かな品々も含まれます。
正倉院宝物の本格的な模造製作は、
明治時代に奈良で開催された博覧会を機に始まりました。
宝物の修理も手掛けた名工たちによる模造製作は、
その後材料や技法、構造の忠実な再現を目指すことになりました。
以来、宮内庁正倉院事務所のもとで、熟練の技と最新の調査・研究成果との融合により、
高い芸術性と学術性を兼ね備えた再現模造が数多く生み出されてきました。
本展では、天平の美と技に挑戦した再現模造の逸品を集めてご紹介いたします。
よみがえった正倉院宝物の姿を通じて、
伝統技術を継承することの意義を感じていただくと幸いです。

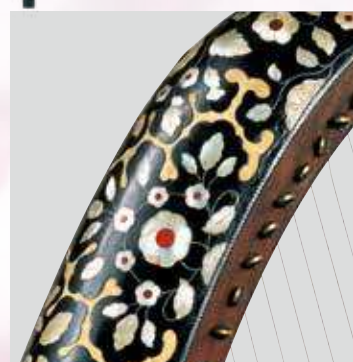


楽器・伎楽

きらびやかな往時の姿を再現

模造 螺鈿槽箏篋(部分)
正倉院事務所蔵

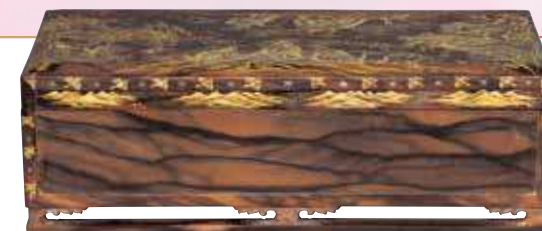
箏篋は竪形ハープの一種。
明治時代、原宝物の修理のために
復元された模造の箏篋です。
花芯には赤色の琥珀を、
枝や茎には光沢のある
金属線を象嵌しています。



天平絵画の息吹を宿す箱

模造 黒柿蘇芳染金銀山水絵箱 東京国立博物館蔵

紫檀のような風合いに仕上げた木地に、金銀で山水を描いた箱の模造。
奈良の漆芸師の家に生まれ、日本画も学んだ作者、吉田包春の確かな技が冴えます。



原宝物では失われた 装飾を再現

模造 黄銅合子
正倉院事務所蔵

仏前で用いる香炉の模造。
塔の形をした蓋の
つまみ部分は、50枚以上の
小さな座金を重ねた
複雑な構造となっています。

